

令和4年度 事業報告
要約

【公益目的事業】

I 一般会計による事業	研究責任者／担当者
1 アホウドリの人為的コロニー計画に関する研究	富田直樹
2 アホウドリ保護支援事業	富田直樹
3 皇居調査－吹上御苑を中心とした皇居内鳥類相を明らかにする	浅井芝樹、小林さやか、 岩見恭子、齋藤武馬、 黒田清子
4 普及・広報事業 (1) PR誌刊行事業、webサイト編集事業 (2) 講習会等事業 (3) 顕彰事業	平岡 考
5 山階武彦助成事業（対象6名）	事務局
II 文部科学省科学研究費補助金（特定奨励費）による研究事業	研究責任者
事業名：日本最大の鳥類関連資料の維持管理・拡充・公開に関する研究事業 0班：総括班 1班：拡充班 2班：管理班 3班：公開班	0班：小川博（所長） （6月までは奥野卓司） 1班：水田 拓 2班：鶴見みや古 3班：平岡 考
III 科学研究費補助金（除 特定奨励費）による研究事業	研究代表者／分担者
1 「安定同位体比による希少猛禽類の歴史的な食性復元・シカ残滓がもたらす個体群への影響」－基盤研究C（基金）、分担事業「サンプル収集、安定同位体比分析、データ解析」	代表者 岩見恭子 分担者 富田直樹
2 「失われた標本の価値を回復する研究－山階芳麿コレクション」－基盤研究C（基金）	代表者 小林さやか
3 「希少種カリガネの越冬生態が個体群動態に及ぼす影響に関する研究」－基盤研究C（基金）、	代表者 澤 祐介
4 「隠蔽種が明らかとなった特別天然記念物アホウドリの生殖隔離に関連する行動学的研究」－基盤研究C（基金）、	代表者 富田直樹
5 「適応放散のメカニズムを解明する－分散力の進化的変化に注目して－基盤研究B（補助金）	代表者 山崎剛史
6 「鳥類標本の羽から探る生態と種分化」－基盤研究B（補助金）、 分担事業「分析資料収集、野外調査」	代表者 武山智博（岡山理科大学 准教授） 分担者 岩見恭子、富田直樹、 水田 拓
7 「海鳥類を利用した日本周辺の水銀暴露ホットスポット海域の解明」－基盤研究B（補助金）、分担事業「野外調査」	代表者 新妻靖章（名城大学農学 部教授） 分担者 富田直樹
8 「野鳥行動解析のためのマルチモーダル生態環境理解・解析技術の構築」－基盤研究A（補助金）、分担事業「野鳥フィールド調査・解析」	代表者 中臺一博（東京工業大学 工学院特任教授） 分担者 森本 元
9 「足元にある未知生態系：コケ類の生態系機能と適応進化を動物との相互関係から読み解く」－基盤B（補助金）、分担事業「生態調査、データ分析」	代表者 今田弓女（愛媛大学理工 学研究科助教） 分担者 森本 元
10 「道路上の構造物は、意図せぬうちに鳥類にどれくらいの営巣場所を提供しているのか？」－基盤研究C（基金）、分担事業「野外調査、行動解析」	代表者 三上 修（北海道教育大 学 教授） 分担者 森本 元
11 「微細構造を活用した生物のやわらかい飛翔と遊泳の原理解明と実装」－新学術領域（補助金）、分担事業「鳥類の翼と胴体の柔らかさの定量的評価と種間比較」	代表者 田中博人（東京工業大学 工学院准教授） 分担者 山崎剛史

IV 環境省・農林省等による事業	責任者
1 生物多様性保全推進交付金 「ヤンバルクイナの野生個体と野生復帰個体との比較、生息環境改善」	尾崎清明 (副所長)
2 国際水産資源動態等調査解析事業 「日本周辺で繁殖するアホウドリ類の分布回遊経路の解明」	富田直樹
V 民間助成金・その他による事業	責任者
1 キャノン財団研究助成プログラム 「鳥類学と航空工学の協同による飛翔の新たな理解と応用」	代表者 岸本直子 (摂南大学教授)
2 公益信託サントリー世界愛鳥基金グローバルスキーム 「カラヤンクイナの保護のための市民科学と教育」	Isla Biodiversity Conservation, Inc. 尾崎清明 (副所長)
3 公益信託サントリー世界愛鳥基金活動助成 「絶滅に瀕する小型鳥類における保全のための遺伝解析」	齋藤武馬
4 米国魚類野生生物局 「Endangered species - Short-tailed Albatross estimates」	富田直樹
5 トヨタ環境活動助成プログラム 「渡り鳥がつなぐ地域の自然と環境問題－鳥類標識調査を活用した普及啓発と環境教育」	水田 拓、澤 祐介
VI 保全研究室 受託・請負事業	責任者
受託事業2件 (環境省1件、東京都1件)、請負事業8件 (環境省関連7件、国立大学法人0件、民間1件) 合計10件 (詳細別紙)	水田 拓

【収益事業】

不動産賃貸事業 (東京都渋谷区南平台町に所有するマンション3室)	事務局
----------------------------------	-----